

## 貸借対照表

2021年3月31日現在

資産の部		負債純資産の部	
科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>	千円	<b>負債の部</b>	千円
<b>流動資産</b>	<b>867,300</b>	<b>流動負債</b>	<b>191,332</b>
現金及び預金	156,273	買掛金	119,094
売掛金	103,049	未払金	17,471
貯蔵品	2,390	未払法人税等	12,600
前払費用	4,334	未払消費税等	16,724
短期貸付金	600,000	未払費用	17,744
その他の流動資産	1,253	預り金	1,201
		賞与引当金	6,495
<b>固定資産</b>	<b>83,848</b>	<b>固定負債</b>	<b>2,955</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>7,922</b>	退職給付引当金	2,955
建物	5,121		
工具器具備品	2,801	<b>負債合計</b>	<b>194,287</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>830</b>	<b>純資産の部</b>	
電話加入権	276	<b>資本金</b>	10,000
ソフトウェア	554	<b>利益剰余金</b>	746,861
<b>投資その他の資産</b>	<b>75,095</b>	利益準備金	2,500
長期前払費用	527	その他利益剰余金	744,361
繰延税金資産	5,003	別途積立金	472,106
差入保証金敷金	16,389	繰越利益剰余金	272,255
その他の投資等	53,175	(内、当期純利益)	(44,440)
		<b>純資産合計</b>	<b>756,861</b>
<b>資産合計</b>	<b>951,149</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>951,149</b>

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針にかかる事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

##### ① 有価証券

##### ・その他有価証券

時価のあるもの 決算日の市場価格等による時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

##### ② 貯蔵品の評価方法

移動平均法による原価法を採用しております。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産

定率法を採用しております。

但し、2016年4月以降に取得した建物・建物附属設備、構築物は定額法を採用しております。

##### ② 無形固定資産

定額法を採用しております。

#### (3) 引当金の計上基準

##### ① 賞与引当金

賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。

##### ② 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務額及び中小企業退職金共済制度の支給見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

##### ③ 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

#### (4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

##### ① リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

##### ② 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。